

研究実践報告

今年度の校内研究は、【友達大すき！はつらつ梅二っ子！！ーゲーム・ボール運動を通してー】という研究主題のもと、進めています。今回の「はつらつ！梅二っ子」では、12月に行われた5年生の研究授業について紹介します。

《12月13日（火）5年1組 佐藤教諭 体育「アルティメット（ゲーム運動）」》

「アルティメット」というスポーツをご存じでしょうか。

アルティメットはコートの中で攻守が入り交じり、パスだけでフライングディスクをゴールラインまで運ぶという、バスケットボールとアメリカンフットボールをあわせたような競技です。

ボールではなくフライングディスクを使うことによって、以下のような利点があります。



- ① 学習経験の差が少なく、どの子でも活躍する喜びや楽しさを味わうことができる。
- ② 当たっても痛くない素材のため、恐怖心を取り除くことができる。
- ③ 長い距離とばすことができる上、飛ぶスピードが次第にゆっくりになるためキャッチしやすい。

雲一つない晴天に恵まれ、子供たちの元気な声が校庭に響き渡りました。子供たちはみんなチームごとに目標をたてて、その目標に向けてチームで協力しあいながらゲームに臨んでいました。また、ゲームに参加していない子供たちもコートの外から大きな声でアドバイスをしたり声援を送ったりと、梅二小の研究主題である「友達大すき！」のように友達との関わりの中から学びを深めていく姿がとてよく感じ取れる授業となりました。



チームの作戦は・・・

次はもっと
こうしたら・・・



寒さに負けず、なわとび旬間

1月12日（木）から1月25日（水）までなわとび旬間が行われました。冬の寒さに負けず、20分休みになると縄跳びを持って校庭にでて音楽に合わせてリズムなわとびを行いました。はじめはリズムについて行けなかったり、上手に飛ぶことができなったりする子もみられましたが、リズムなわとびの後の個人練習の時間に体育委員会の子などに教えてもらいながら、日々上達することができました。なわとび旬間は終わりましたが、ぜひご家庭でも風邪予防・体力アップのためになわとびに挑戦してみてください。